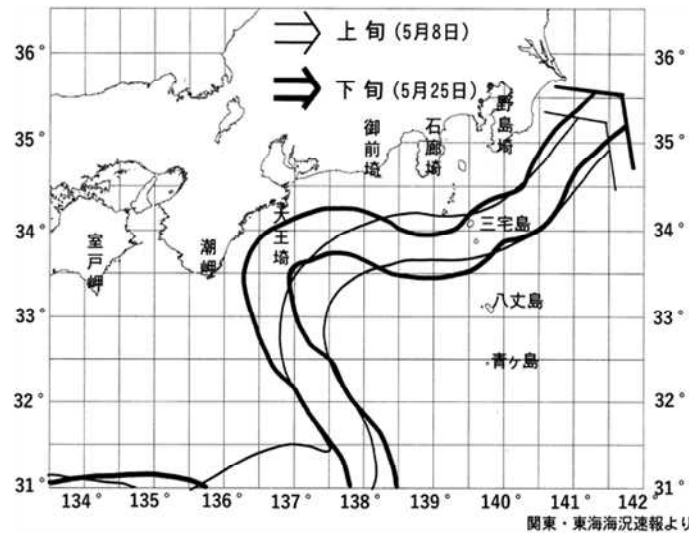


# 漁海況月報

令和5年5月1日

No. 5 ~5月31日

静岡県水産・海洋技術研究所  
(電話 054-627-1815)  
静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)



5月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年値\*からの偏差)  
関東・東海海況速報より

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	17.8	17.4	17.5	18.7	19.7	18.4
	0.7	0.2	0.4	0.7	1.1	0.3
中旬	18.6	18.8	18.6	19.0	19.4	19.1
	0.6	0.9	0.8	0.2	0.4	0.4
下旬	19.6	20.1	19.8	20.3	20.6	19.8
	0.6	1.1	1.0	0.6	0.6	0.1
月	18.7	18.8	18.7	19.4	19.9	19.3
	0.6	0.7	0.8	0.5	0.6	0.3

\*平年値：過去30年(平成3年~令和2年)平均値

## 【黒潮流路】

5月を通じてA型で、上旬は潮岬沖で、中旬~下旬は大王崎沖で大きく離岸した後、遠州灘沖まで北上する流路となった。

上旬は潮岬沖で大きく離岸し、大王崎沖31.0°N付近から遠州灘沖34.0°NまでS字状に北上した後東進し、三宅島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が遠州灘沖の黒潮屈曲部から熊野灘に向けて、石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて見られた。

中旬は大王崎沖で大きく離岸し、大王崎沖30.5°N付近から遠州灘沖34.0°NまでS字状に北上した後東進し、三宅島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が遠州灘沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘に向けて、石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて見られた。

下旬は大王崎沖で大きく離岸し、大王崎沖30.0°N付近から遠州灘沖34.0°Nまで熊野灘に近づき

ながらS字状に北上した後東進し、三宅島付近を通過して東北東に流去した。暖水波及が大王崎沖の黒潮屈曲部から熊野灘に向けて、遠州灘沖の黒潮北縁から遠州灘に向けて、石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて見られたほか、一時的に駿河湾内に向けて見られた。

## 【沿岸域水温】

上旬の水温は稲取、下田、焼津で「平年並」、伊東、雲見、沼津で「やや高め」であった。中旬は雲見、沼津、焼津で「平年並」、伊東、稲取、下田で「やや高め」であった。下旬は焼津で「平年並」、それ以外の地点で「やや高め」であった。

## 【竿釣カツオ】

5月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは155.2トンで前年同月(243.3トン)の64%であった。平均単価は472円/kgで前年同月(321円/kg)を上回った。

漁場は34-35°N、138-139°Eの駿河湾沖などで、御前崎港に水揚げされたカツオの尾叉長組成は小(尾叉長47cm)が主体であった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R5年5月上旬	52.6	10	5.3	503
中旬	36.3	12	3.0	552
下旬	66.3	15	4.4	403
R5年5月計	155.2	37	4.2	472
R4年5月計	243.3	43	5.7	321
R3年5月計	197.9	40	4.9	228

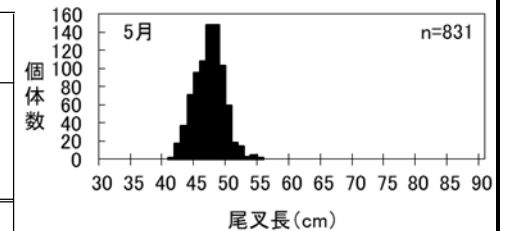


図 御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

## 【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は326.8トンで、前年(219.2トン)の1.5倍、平年(472.7トン)の69%であった。また、1か統あたりの水揚量は46.7トン(前年:31.3トン、平年:67.5トン)であった。水揚量の多い漁場は、北川漁場(93.8トン、さば類、ブリ、マルソウダ)、次いで川奈漁場(62.8トン、ブリ、さば類、マアジ)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)のとおりで、ブリは100.0トンで、前年比31.0倍、平年比3.8倍であった。銘柄わらさが主体であった。さば類は99.9トンで、前年比1.1倍、平年比75%であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは14.9トンで、前年比1.0倍、平年比49%であった。ゴマサバは85.1トンで、前年比1.1倍、平年比74%であった。シイラは23.5トンで、前年比1.5倍、平年比4.4倍であった。マアジは20.5トンで、前年比45%、平年比15%であった。なお、じんだ銘柄は11.7トンで前年比96.7倍、平年比13.5倍で、5月の水揚量として1982年以降最も多かった。マルソウダは17.6トンで、前年比18.0倍、平年比36%であった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)とおりで、各漁場の水揚量の割合は、ブリでは川奈漁場が33%(33.4トン)、北川漁場が19%(18.9トン)、富戸漁場が15%(14.8トン)、古網漁場が15%(14.6トン)、さば類では北川漁場が53%(53.2トン)、川奈漁場が16%(15.5トン)、シイラでは谷津漁場が29%(6.9トン)、伊豆山漁場が29%(6.7トン)、北川漁場が23%(5.3トン)、マアジで

は伊豆山漁場が35% (7.2トン)、古網漁場が28% (5.6トン)、川奈漁場が20% (4.2トン)、マルソウダでは北川漁場が62% (10.9トン)、富戸漁場が22% (3.8トン)であった。

\* 平年：昭和57年～令和4年の平均値

多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
ブリ	100.0	30.95	3.82	川奈、北川、富戸、古網
さば類	99.9	1.10	0.75	北川、川奈
シイラ	23.5	1.51	4.36	谷津、伊豆山、北川
マアジ	20.5	0.45	0.15	伊豆山、古網、川奈
マルソウダ	17.6	18.04	0.36	北川、富戸

**【サバたもすくい網】**

小川港所属の棒受網漁船は月を通じてたもすくい漁業主体で操業し、漁場は月を通じて千波、利島に形成された。水揚量はマサバ7トン(前年同月48%)、ゴマサバ357トン(前年同月比1.5倍)であり、1隻あたり水揚量はマサバ0.3トン(前年同月比38%)、ゴマサバ13.7トン(前年同月比1.04倍)であった。

1kgあたり平均単価は、マサバ(153円)は前年同月(165円)を下回ったが、ゴマサバ(170円)は前年同月(164円)を上回った。

漁獲物の体長組成は、マサバは36cm、ゴマサバは34cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい漁業)水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		平均単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R5年5月上旬	0	35	1	2	0.0	17.5	197	175	千波
中旬	2	165	6	11	0.2	15.0	123	169	千波、利島
下旬	5	157	7	13	0.4	12.1	169	171	千波、利島
R5年5月計	7	357	14	26	0.3	13.7	153	170	千波、利島
R4年5月計	15	238	10	18	0.8	13.2	165	164	ひょうたん瀬
R3年5月計	688	137	12	35	19.7	3.9	107	116	高瀬、利島、ひょうたん瀬

\*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

**【サクラエビ船曳網】**

5月の出漁日数は9日、水揚量は111.3トンであった(前年同月の出漁日数は13日、水揚量は158.2トン)。主漁場は田子の浦沖～由比沖であった。水揚げされたサクラエビは体長38～39mm付近にモードがあった。

サクラエビ水揚量

期間	水揚量(トン)	日数	漁場
R5年5月上旬	33.0	2	蒲原沖～由比沖
中旬	56.8	5	田子の浦沖～富士川沖
下旬	21.6	2	富士川沖～蒲原沖
R5年5月計	111.3	9	—
R4年5月計	158.2	13	富士川沖～興津川沖
R3年5月計	88.0	10	富士川沖～三保沖、用宗沖
R2年5月計	22.7	11	沼津沖、三保沖～焼津沖、相良沖

\*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

**【シラス船曳網】**

県内主要6港における1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が180kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が256kgであった。平均水揚量は226kgで前年同月(455kg)の49.7%、前年同月(過去5か年平均:483kg)の46.8%であった。また、総水揚量は411.0トンで前年同月(1,136.8トン)の36.2%、前年同期(1,025.6トン)の40.1%で前年、平年を大きく下回った。平均単価は1,685円/kgで前年同月(706円/kg)の2.4倍、前年同月(765円/kg)の2.2倍で前年同月、前年同月を大きく上回った。

主要6港のシラス水揚量(主要6港)

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)
遠州灘	新居	27.8	13	144	193
	舞阪	120.3	13	515	234
	福田	104.0	14	356	292
	御前崎	32.5	11	99	328
駿河湾	吉田	87.4	15	390	224
	静岡	39.0	16	314	124
R5年5月計	411.0	82	1,818	226	1,685
R4年5月計	1,136.8	109	2,499	455	706
R3年5月計	513.4	72	1,594	322	592

\*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

\*平年：過去5か年(平成30～令和4年)平均値

**【まき網(いわし類)】**

マイワシの水揚量は、沼津港では11.2トン(前年同月2.9%、前年同月比3.0%)、小川港では1.2トン(前年同月比0.6%、前年同月比0.6%)、伊東港、静浦港では水揚げがなかった。カタクチイワシは、沼津港では1.3トン(前年同月19.0%、前年同月比5.7%)、小川港では0.1トン(前年同月1.6%、前年同月比0.9%)、伊東港、静浦港では水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、カタクチイワシは5.8トン、マイワシは水揚げがなかった。

\*平年：過去5か年(平成30～令和4年)平均値

**【調査船駿河丸の動向】**

5月9日～5月11日	地先定線観測調査	(3日間)
5月12日	調査機器調整及び漁業士乗船視察航海	(1日間)
5月15日～5月18日	カツオ魚群分布調査	(4日間)
5月22日～5月23日	さば類標識放流及び音響調査	(2日間)
5月24日	水質調査	(1日間)
5月25日～5月26日	いわし類卵稚仔分布調査	(2日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

